

新しい元号(令和)に想いをよせて～今、ガーナで想うこと
～休止している和デインクラプロジェクト復活の年に～

4月1日、新しい元号が発表となりました。とてもきれいな言葉だなと思いました。ガーナで生活し始めてから西暦表記を用いるようになり、平成表記の使用はほとんどないに等しい生活となってしまいました。平成の約三分の一をここガーナで生活して間もなく迎える令和元年。令和と発表になった時に休止している一つのプロジェクトが胸に刺さりました。とてもきれいな響きの言葉の元号を目にして胸が痛むのは、プロジェクトが進行できていない恥ずかしさなのか後ろめたさなのかわかりません。そのプロジェクトとは【和デインクラプロジェクト】です。ガーナには伝統模様のアデインクラがあります。そのガーナ伝統模様アデインクラ模様を輪の中に入れ切り紙でスタンプ代わりにする物を作り手ぬぐい作りをしたのが2016年のことです。その前の年に【世界でたった一枚の手ぬぐい作り】から生まれた【和デインクラプロジェクト】です。漢字表記は(輪)でなく(和)。これは想いがあり(和)にしました。日本の和文化の和、平和の和。プロジェクトとなる授業をした当時の中学三年生の生徒には(和)の説明をそのようにしました。和デインクラを用いた手ぬぐい作りと、和柄の色紙を使ってのしおり作りに当時、初めての経験に子どもたちはとても楽しく取り組みました。しかし、手ぬぐい作りのスタンプが切り紙をしてから始めるとなると授業の取り組みでおこなうのはとても難しく、また毎回絵の具を使う時に発生する水の問題で、この時やったのが手ぬぐい作りもしおり作りも最初で最後となってしまいました。しかし、令和の元号が発表された後、令和の引用となった万葉集の言葉、英語表記の Beautiful harmony を聞き、再びこのガーナの地で【和デインクラ】に想いを込めて復活したいと奮い立ちました。和デインクラに用いるアデインクラのマークはシメトリーなマークを用いています。世の中、肌の色も国籍も関係なくつりあってほしいという想いがあるからです。令和元年、和デインクラプロジェクト復活の年にします。

2019年4月15日 國分 敏子
ガーナ挨拶 No 25

